DocuPrint C3540/C3140/C3250

PCL エミュレーション設定ガイド

ご注意

① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。

はじめに

このたびは富士ゼロックス製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書では、PCL5c、PCL6 エミュレーションについて記載しています。
製品の性能を十分に発揮させ、効果的にご使用いただくために、必要に応じて本書をお読みください。
本書の内容は、ご使用になる環境の基本的な知識や操作方法、および DocuPrint C3540/C3140/C3250 の基本操作を習得されていることを前提に説明しています。

富士ゼロックスプリンティングシステムズ株式会社

目　次

マニュアル体系について

ここでは、本機のマニュアルの種類と、その概要を説明します。

本体同梱マニュアル

本機には次のマニュアルが同梱されています。

■セットアップガイド
本機の設置方法について説明しています。

■取扱説明書
本機で印刷するまでの準備、操作方法、およびトラブルの対処方法などについて説明しています。

■マニュアル（HTML）
プリンタードライバーのインストール、プリンターの環境設定などを説明しています。

- 本体に同梱されているドライバー CD キットの CD-ROM 内に格納されています。

■エミュレーション設定ガイド（PDF）
201H、HP-GL®、HP-GL/2®、PCL の各エミュレーションモードの設定方法について説明しています。

- 201H、HP-GL、HP-GL/2、PCL の各エミューションモードは、エミュレーションキット（オプション）または PostScript® ソフトウエアキット（オプション）を取り付けると使用できます。
- 各エミュレーション設定ガイドは、本体に同梱されているドライバー CD キットの CD-ROM 内に格納されています。

オプション品同梱マニュアル

■オプション品の設置手順書・取扱説明書
別売りのオプション品には、必要に応じて設置手順書または取扱説明書が同梱されています。

■ PostScript® Driver Library CD-ROM 内のマニュアル（PDF）
PostScript プリンターとして使用するための設定方法やプリンタードライバーで設定できる項目について説明しています。

- PostScript ソフトウエアキットに同梱されている CD-ROM 内に格納されています。

商品マニュアル

必要に応じて購入していただくマニュアル（リファレンスマニュアル（ART IV 対応）など）もあります。
これらのマニュアルでは、プリンター（プロッター）制御言語のコマンドやソフトウエアのインストール手順などを説明しています。

本書の読み方

前提知識

本書の内容は、お使いの OS（オペレーティングシステム）の環境の基本的な知識や操作方法を理解されていることを前提に説明しています。お使いの OS の基本的な知識や操作方法については、OS に付属の説明書をお読みください。

本書の構成

本書は、以下の構成になっています。

第 1 章　エミュレーションを使用するには

使用できるインターフェイスや、使用できるフォント、エミュレートするプリンターなどについて説明しています。

第 2 章　PCL モードの設定

PCL エミュレーションを使用するための、プリンターでの設定について説明しています。

本書の表記

① 本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。

② 本文中では、説明する内容によって、次のアイコンを使用しています。

注記 注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。

補足 補足事項を記述しています。

参照 参照先を記述しています。

③ 本文中では、次の記号を使用しています。

参照「　　」：参照先は、本書内です。

参照『　　』：参照先は、本書内ではなく、ほかの説明書です。

「　　」：フォルダー、ファイル、アプリケーション、CD-ROM などの名称を表します。

[　　]：クライアント上のメニュー、コマンド、ウィンドウやダイアログボックスとそれらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表します。

〈　　〉キー：キーボード上のキーを表しています。

〈　　〉ボタン：操作パネル上のボタンを表しています。

【　　】：操作パネルのディスプレイに表示されるメッセージ、メニューの選択肢や設定値を表します。

④ 本文中では、PCL5c と PCL6 をまとめて PCL と表記しています。

1章

エミュレーションを使用するには

1.1 エミュレーションについて

本機で使用できるプリント言語の PCL エミュレーションについて説明します。
プリントデータは、ある規則（文法）に従ったデータになっています。本機では、この規則（文法）をプリント言語といいます。
本機が対応しているプリント言語は、ページ単位にイメージを作るページ記述言語と、ほかのプリンターでの印刷結果に近い結果を得ることができるエミュレーションに分類できます。なお、ほかのプリンターでの印刷結果に近い結果を得ることをエミュレートするといいます。

1.1.1 エミュレーションモード

本機が対応するページ記述言語以外のデータを印刷するときは、本機をエミュレーションモードにします。本機には、複数のエミュレーションモードがあります。その中の PCL エミュレーションモードと、エミュレートするプリンターの対応は、次のとおりです。

エミュレーションモード	エミュレートするプリンター
PCL エミュレーションモード（PCL モード）	HP CLJ5500

1.1.2 ホストインターフェイスとエミュレーション

ホストインターフェイスごとに、対応するプリント言語は異なります。プリント言語に対応しているホストインターフェイスは、次のとおりです。

- パラレルポート
- LPD ポート
- NetWare ポート
- SMB ポート
- IPP ポート
- USB-1（1.1）ポート
- USB-2（2.0）ポート
- Port9100 ポート

1.1.3　プリント言語の切り替え

本機は、マルチエミュレーションに対応しています。このため、対応するプリント言語の切り替えができるようになっています。
対応するプリント言語を切り替える方法は、次のとおりです。

コマンド切り替え

対応するプリント言語を切り替えるコマンドを用意しています。本機は、コマンドを受け取ると、対応するプリント言語に切り替えます。

自動切り替え

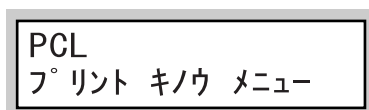
ホストインターフェイスが受信したデータを分析し、プリント言語を自動的に特定します。そして、対応するプリント言語に切り替えます。

インターフェイス従属

操作パネルを使って、ホストインターフェイスごとにプリント言語を設定します。データを受信したホストインターフェイスに合わせて、対応するプリント言語に切り替えます。

1.1.4　モードメニュー画面

エミュレーションのPCLモード固有の項目を設定する画面です。PCLのモードメニュー画面を表示するには、〈メニュー〉ボタンを押し、【プリントゲンゴノ　セッテイ】で【PCL】を選択してください。

```
PCL
プ゚リント キノウ メニュー
```

参照
PCLのモードメニュー項目については、「第2章　PCLモードの設定」を参照してください。

1.2 フォントについて

ここでは、PCL エミュレーションモードで使用できるフォントについて説明します。

1.2.1 使用できるフォント

PCL エミュレーションでは、以下のフォントを使用できます。

アウトラインフォント

搭載されているアウトラインフォントは、次のとおりです。

和文

- 平成明朝体 TMW3
- 平成角ゴシック体 TMW5

欧文

- Century
- CG Times
- CG Times Italic
- CG Times Bold
- CG Times Bold Italic
- Univers Medium
- Univers Medium Italic
- Univers Bold
- Univers Bold Italic
- Univers Medium Condensed
- Univers Medium Condensed Italic
- Univers Condensed Bold
- Univers Condensed Bold Italic
- AntiqOlive
- AntiqOlive Italic
- AntiqOlive Bold
- CG Omega
- CG Omega Italic
- CG Omega Bold
- CG Omega Bold Italic
- Garamond Antiqua
- Garamond Kursiv
- Garamond Halbfett
- Garamond Kursiv Halbfett
- Courier
- Courier Italic

- Courier Bold
- Courier Bold Italic
- Letter Gothic
- Leter Gothic Italic
- Letter Gothic Bold
- Albertus Medium
- Albertus Extra Bold
- Clarendon Condensed Bold
- Coronet
- Marigold
- Arial
- Arial Italic
- Arial Bold
- Arial Bold Italic
- Times New Roman
- Times New Roman Italic
- Times New Roman Bold
- Times New Roman Bold Italic
- Symbol
- Wingdings
- Times Roman
- Times Italic
- Times Bold
- Times Bold Italic
- Helvetica
- Helvetica Oblique
- Helvetica Bold
- Helvetica Bold Oblique
- Courier PS
- Courier PS Oblique
- Courier PS Bold
- Courier PS Bold Oblique
- Symbol PS
- Palatino Roman
- Palatino Italic
- Palatino Bold
- Palatino Bold Italic
- ITCBookman Light
- ITCBookman Light Italic

- ITCBookman DemiBold
- ITCBookman DemiBold Italic
- Helvetica Narrow
- Helvetica Narrow Oblique
- Helvetica Narrow Bold
- Helvetica Narrow Bold Oblique
- New Century Schoolbook Roman
- New Century Schoolbook Italic
- New Century Schoolbook Bold
- New Century Schoolbook Bold Italic
- ITCAvantGarde Book
- ITCAvantGarde Book Oblique
- ITCAvantGarde DemiBold
- ITCAvantGarde DemiBold Oblique
- ZapfChancery Medium Italic
- ZapfDingbats

ビットマップフォント

搭載されているビットマップフォントは、次のとおりです。

- LinePrinter

1.3 排出機能について

排出機能について説明します。排出機能には、次の 2 種類があります。
- **残ったデータを強制排出する場合**
- **プリンター内のすべてのジョブを排出する場合**

1.3.1 残ったデータを強制排出する場合

PCL エミュレーションモードでは、1 ページ分のデータがすべてそろうまでデータは排出されません。パラレルインターフェイス、USB-1（1.1）インターフェイス、USB-2（2.0）インターフェイスの場合、データの最後がページの途中で終了してしまうと、【ジドウ ハイシュツ ジカン】で設定されている時間が経過するまで次のデータ待ちになり、ディスプレイには【データマチデス】が表示されます。
強制排出は、このようなときに自動排出時間を待たずに、プリンター内のデータを強制的に印刷する操作です。
操作手順は次のとおりです。

補足
ディスプレイに【データマチデス】が表示されているとき、次のジョブを送信すると正常に印刷されない場合があります。
次のジョブは、強制排出後、または自動排出時間が経過してから送信してください。

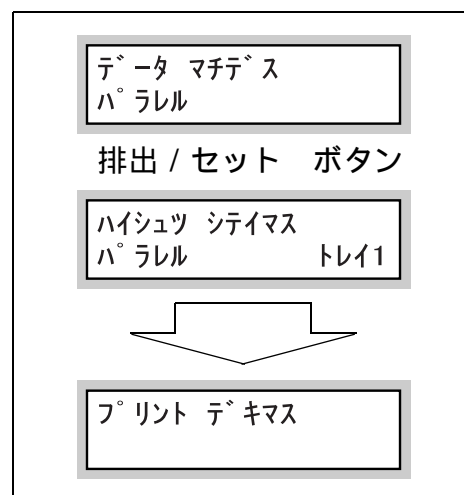
参照
自動排出時間については、『DocuPrint C3540/C3140/C3250 取扱説明書』を参照してください。

操作手順

1 右記のディスプレイ状態で〈排出 / セット〉ボタンを押します。

印刷が開始されます。

印刷が終了すると、【プリントデキマス】の表示になります。

注記
共通メニュー項目の【プリントモード シテイ】が【ジドウ】の場合、【データマチデス】と表示されないため、強制排出できません。

1.3.2 プリンター内のすべてのジョブを排出する場合

プリンターに受信されているすべてのジョブを実行して印刷します。
この操作によって、データの受信を中断し、バッファを空の状態にできます。次に手順を説明します。

操作手順

1 **右記のディスプレイ状態で〈オンライン〉ボタンを押します。**

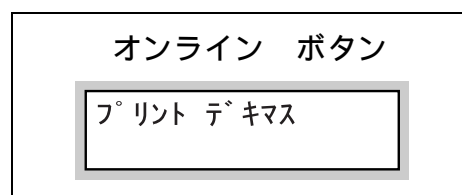
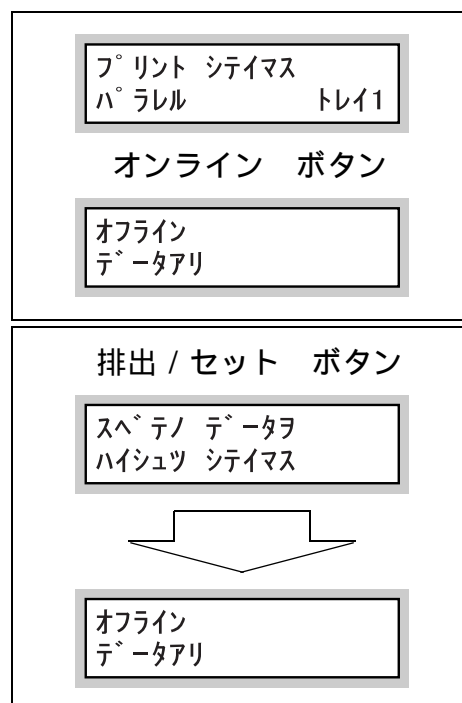
補足
〈オンライン〉ボタンを押すと、プリンターは自動的にデータを受信できない状態となります。

2 **〈排出 / セット〉ボタンを押します。**
印刷が開始されます。

すべてのジョブを実行して印刷すると、【オフライン】の表示になります。

補足
パラレルインターフェイス、USB インターフェイスを使用している場合、手順 ***1*** の〈オンライン〉ボタンを押すタイミングによって、データ受信がジョブの途中になることがあります。
この場合、それ以降のデータは〈排出 / セット〉ボタンを押したあと、新しいジョブとして認識され、手順 ***3*** のオフライン解除後、新しいジョブとして処理されます。

3 **〈オンライン〉ボタンを押します。**
【プリントデキマス】の表示になります。

補足
【プリントデキマス】表示後、新しいジョブとして処理されるデータは、共通メニューの【プリントモード シテイ】で【ジドウ】が設定されていると、正常に印刷されない場合があります。

〈オンライン〉ボタン

プ゜リント テ゛キマス

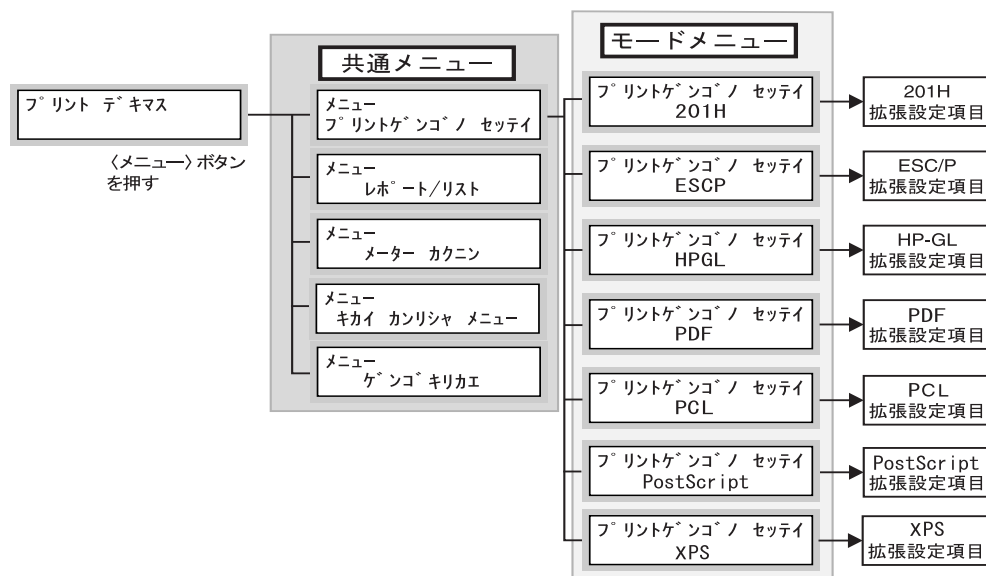
2章

PCL モードの設定

2.1 モードメニューについて

メニューの種類およびエミュレーションモードメニューの階層について説明します。

2.1.1 本機のメニュー

メニューには、エミュレーション関連を設定する「モードメニュー」とプリンターのその他の設定を行う「共通メニュー」があります。

PostScript ソフトウエアキット、またはエミュレーションキットを装着すると、「共通メニュー」で以下の項目が設定できます。

- **ポートの起動（パラレル /LPD/NetWare/SMB/IPP/USB-1/USB-2/Port9100）**
  PCL エミュレーションを使用するポートを起動します。
- **プリントモードの指定（パラレル /LPD/NetWare/SMB/IPP/USB-1/USB-2/Port9100（初期値：【ジドウ】））**
  ポートのプリントモード指定を、PCL エミュレーションが使用できるように設定します。プリントモードとして【PCL】、または【ジドウ】を選択します。

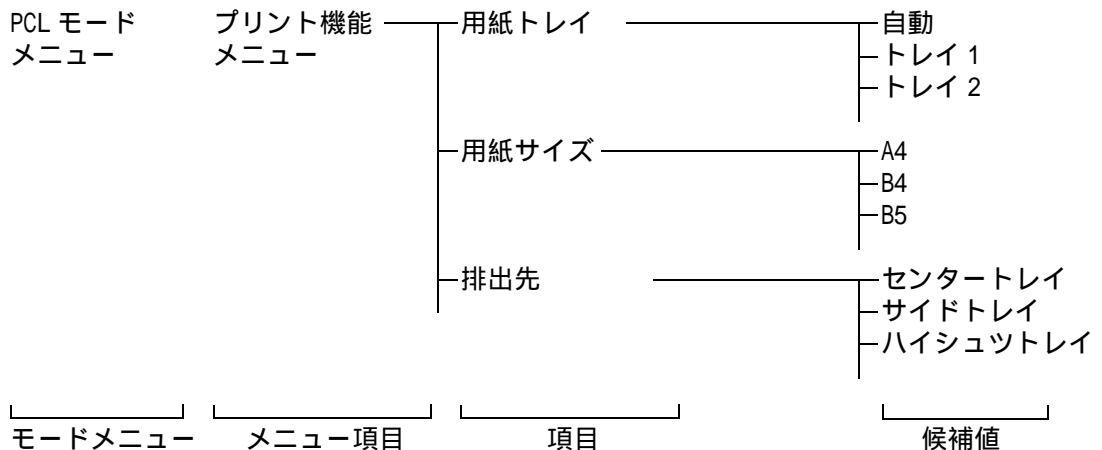
参照

共通メニューの設定項目については、『DocuPrint C3540/C3140/C3250 取扱説明書』を参照してください。

2.1.2　モードメニューについて

PCL モードメニューは、PCL エミュレーションの固有な設定をするためのメニューです。
モードメニューの設定内容を印刷中に変更できます。この場合、変更された設定は、次のジョブから反映されます。
モードメニューは、次のような階層で構成されています。

- **モードメニュー > メニュー項目 > 項目 > 候補値**

補足
項目のないメニュー項目もあります。
項目は「項目 1」「項目 2」「項目 3」に分けられる場合があります。
（以降、「項目」と呼びます。）

上記の図は、PCL モードメニューの階層の一部を表したものです。

参照
モードメニューで設定できる項目および操作は、「2.2　PCL モードメニューの設定」を参照してください。

2.2 PCL モードメニューの設定

PCL モードメニューで設定できる項目と、その操作方法について説明します。

2.2.1 PCL 設定項目一覧

PCL モードメニューで設定できる項目について説明します。

プリント機能メニュー

用紙トレイ

印刷に使用する用紙トレイを設定します。
候補値は次のとおりです。
【ジドウ】（初期値）
【ヨウシ サイズ】で設定した用紙がセットされている用紙トレイを探し出し、そこから自動給紙します。
【トレイ 1】
【トレイ 2】
【トレイ 3】
【トレイ 4】
【トレイ 5（テザシ）】

注記
【トレイ 1】～【トレイ 4】を選択した場合、その用紙トレイにセットされている用紙の大きさが用紙サイズとなるため、【ヨウシ サイズ】の設定はできません。

補足
- 【ジドウ】を選択した場合、同じサイズの用紙が同じ用紙方向で複数のトレイにセットされているときは、トレイの優先順位に従って給紙されます。また、同じサイズの用紙が異なる向きで複数のトレイにセットされているときは、横にセットされている用紙が優先されます。
- 【トレイ 2】～【トレイ 4】は、オプショントレイが装着されている場合に表示されます。

用紙サイズ

印刷する用紙のサイズを設定します。【ヨウシ トレイ】の設定が【ジドウ】の場合に設定できます。
候補値は次のとおりです。

■用紙トレイが【ジドウ】のとき

【A4】（初期値）【B4】【B5】【8.5 × 11】【8.5 × 14】【8.5 × 13】【11 × 17】【A5】【A3】

■用紙トレイが【トレイ 1】～【トレイ 4】のとき

設定しているトレイにセットされている用紙サイズが表示されます。【ヨウシ サイズ】は設定できません。

補足
セットされている用紙サイズが不明なときは、【**】と表示されます。

用紙サイズ（手差し）

手差しトレイにセットする用紙のサイズを設定します。【ヨウシ トレイ】の設定が【トレイ 5（テザシ）】の場合に設定できます。
候補値は次のとおりです。

■用紙トレイが【ジドウ】のとき
【A4】（初期値）【B4】【B5】【8.5 × 11】【8.5 × 14】【8.5 × 13】【11 × 17】【A5】【ハガキ】【5.5 × 8.5】【7.25 × 10.5】【フウトウ #10】【A3】

補足
セットされている用紙サイズが不明なときは、【**】と表示されます。

排出先

印刷した用紙の排出先トレイを設定します。
【センタートレイ】（初期値）
【サイドトレイ】
【ハイシュツトレイ】
【フィニッシャートレイ】

補足
- 【サイドトレイ】は、オプションのサイドトレイが装着されている場合に設定できます。
- 【ハイシュツトレイ】、【フィニッシャートレイ】は、オプションのフィニッシャーが装着されている場合に設定できます。

印刷方法

用紙の印刷方向を【タテ】、【ヨコ】から設定します。初期値は【タテ】です。

両面

両面印刷をするかしないかを設定します。初期値は【シナイ】です。
両面印刷を【スル】に設定した場合は、さらに綴じ方向を【チョウヘン トジ】または【タンペン トジ】から選択できます。

フォント

使用するフォントを設定します。初期値は【23 Courier】です。

シンボル セット

使用する記号用フォントを設定します。初期値は【ROMAN 8】です。

フォント サイズ

フォントサイズを設定します。初期値は【12.00】で、4.00 ～ 50.00 の間で 0.25 刻みに設定できます。

フォント ピッチ

文字間を設定します。初期値は【10.00】で、6.00 ～ 24.00 の間で 0.01 刻みに設定できます。

フォーム ライン

フォームライン（1 フォームあたりの行数）を設定します。初期値は【64】で、5 ～ 128 の間で 1 刻みに設定できます。

部数

印刷する部数を、1 〜 999 部の間で設定します。初期値は【1 ブ】です。

ImageEnhancement（イメージエンハンスメント）

イメージエンハンスを行うか行わないかを設定します。
イメージエンハンスとは、白黒の境めを滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に解像度を高める機能です。初期値は【スル】です。

HexDump

コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷するかどうかを設定します。初期値は【ムコウ】です。

ドラフトモード

ドラフトモードでの印刷をするかどうかを設定します。初期値は【ムコウ】です。

カラーモード

カラーモードを設定します。
候補値は次のとおりです。
【ジドウ】（初期値）
【カラー】
【シロクロ】

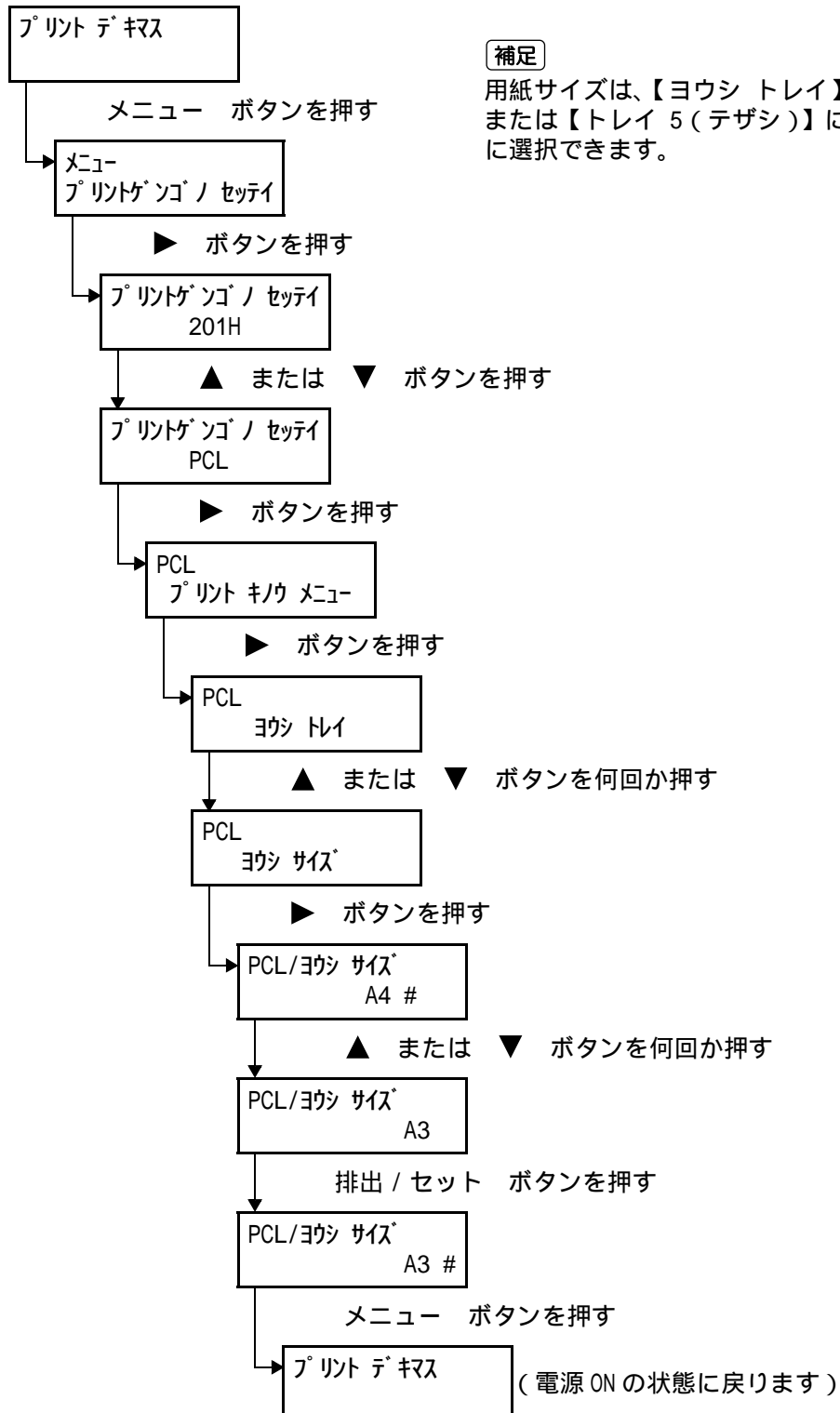
Line Termination

ラインターミネーションを設定します。
候補値は次のとおりです。
【シナイ】（初期値）
【Add-LF】
【Add-CR】
【CR-XX】

2.2.2　PCL モードメニューの設定方法

モードメニューの設定方法について、PCL モードの用紙サイズを【A3】に設定する場合を例に説明します。

補足
用紙サイズは、【ヨウシ トレイ】で【ジドウ】、または【トレイ 5（テザシ）】に設定した場合に選択できます。

PCL モードの設定 2

2.3 PCL モードのリストについて

PCL モードのリストについて説明します。

補足

- リストの印刷結果は、DocuPrint C3540（両面機能付き）を例に記載しています。
- ほかのレポート / リストについては、『DocuPrint C3540/C3140/C3250 取扱説明書』を参照してください。

2.3.1 PCL モードのリスト

- **PCL 設定リスト**
  PCL モードでの設定値を確認できます。

DocuPrint C3540
PCL設定リスト

日時 : 2005/02/05 05:41 AM

PCL設定

用紙トレイ	自動
用紙サイズ	A4
用紙サイズ（手差し）	A4
排出先	センタートレイ
印刷方向	たて
両面	しない
フォント	Courier
シンボルセット	Roman 8
フォントサイズ	12.00
フォントピッチ	10.00
フォームライン	64
部数	1
Image Enhancement	する
HexDump	無効
カラーモード	自動
Line Termination	しない
ドラフトモード	無効

• PCL フォーム登録リスト
登録したフォームなどを確認できます。

DocuPrint C3540
PCLフォーム登録リスト

日時 : 2005/02/05 05:41 AM
ページ : 1(最終)

PCLフォーム一覧

登録番号	登録フォーム名	バイト数

2.3.2 プリント方法

• PCL 設定リスト
操作パネルで、【レポート / リスト】>【プリントゲンゴ】>【PCL セッテイ リスト】を選択し、印刷します。
• PCL フォーム登録リスト
操作パネルで、【レポート / リスト】>【プリントゲンゴ】>【PCL フォーム リスト】を選択し、印刷します。

参照
レポート / リストの印刷方法については、『DocuPrint C3540/C3140/C3250 取扱説明書』を参照してください。

索　引

記号・英数

ア

カ

ハ

マ

マニュアルコメント用紙

本書をより使いやすいものとするために、皆様からの貴重なご意見（説明不足、間違い、誤字、誤植、ご要望など）をお待ちいたしております。ご記入に際しましては、マニュアルに関することのみ具体的にご指摘くださるようお願いいたします。

マニュアルの名称	DocuPrint C3540/C3140/C3250 PCL エミュレーション設定ガイド		管理 No	ME3362J1-2
ご 芳 名		貴 社 名		
所属部門		電話番号	［ 内線 ］	
所 在 地				

個人情報の取り扱いについて

マニュアルコメント用紙にご記入いただいたご芳名、所在地、電話番号等は、富士ゼロックス株式会社のマニュアル制作担当部門でマニュアルに対するお客様のご要望を具体的に把握・分析してマニュアルを改善するための活動、およびご協力いただいたお客様へのお礼状の送付のために利用いたします。

ページ	行	内容へのご指摘／ご要望

富士ゼロックス記入欄		
記　　事	受付 No.	受付担当印

1 版

［ 切り取り線 ］

[折り込み線]

富士ゼロックス（株）社内メール扱い

[送付先]
HID 開発部
マニュアルグループ 行

[切り取り線]

担当社員

事業部	営業所	課	係
	氏名		

[折り込み線]

- ご記入くださいましたら点線の部分で折り込みホチキスなどでとめたうえ、お買い求めの販売店にお渡しください。
- このままで郵便物として投函なさらないようにご注意ください。

モードメニュー一覧（PCL）